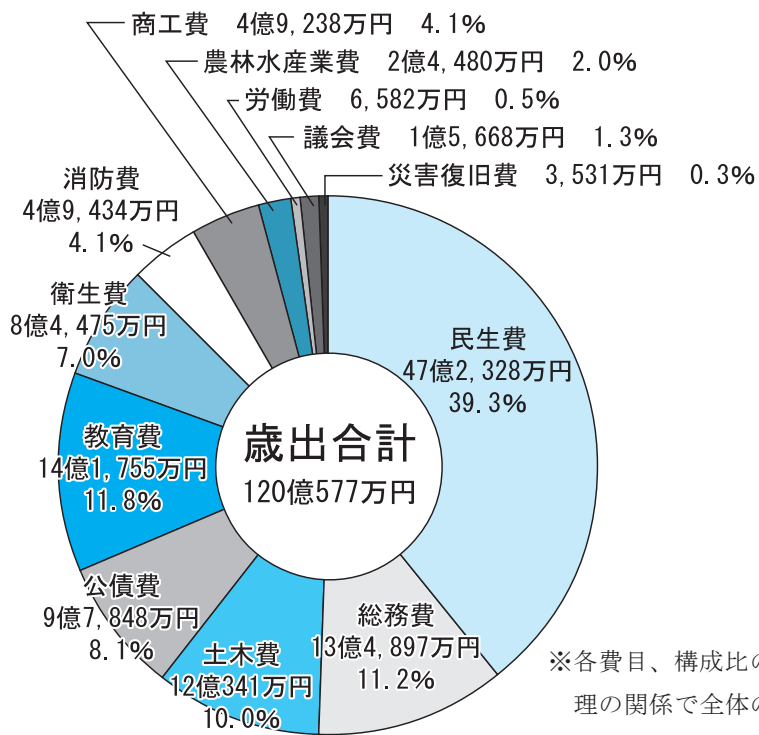
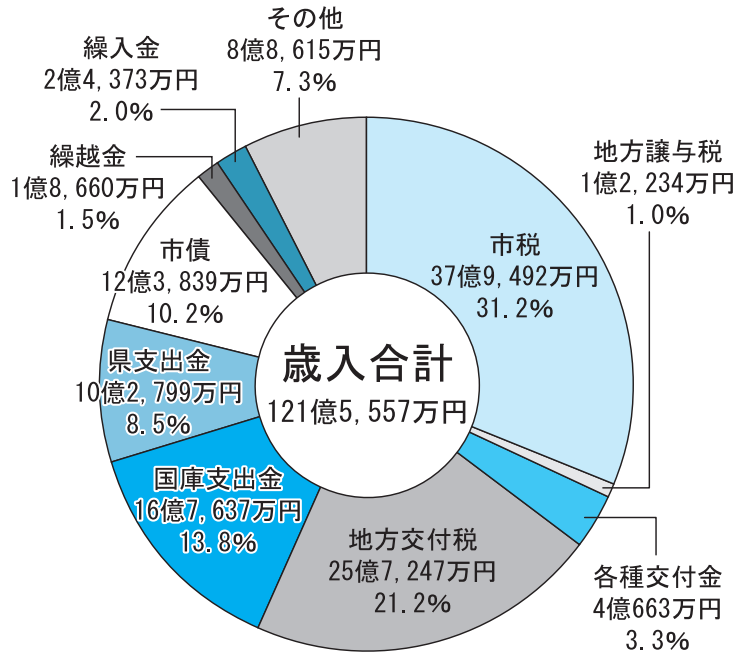


# 竹原市の財政事情

（平成26年度決算及び平成27年度上半期予算執行状況）

問い合わせ  
財政課 財政係  
☎ 2217731

▼図1 平成26年度の一般会計の決算状況



※各費目、構成比の合計は、端数処理の関係で全体の計と一致しない場合があります。

## 一般会計の決算状況

平成26年度一般会計決算額は、歳入121億5,557万円、前年度（126億4,791万円）より4億9,234万円（3.9%）減少し、歳出120億577万円、前年

度（124億6,131万円）より4億5,554万円（3.7%）減少しています。また、翌年度に繰り越す財源を除いた実質収支（※P9この言葉？参照）は、1億1,329万円の黒字となっています。

## 【歳入】

歳入の主なものとして、市税は37億9,492万円で、法人市民税や、固定資産税の減少等の影響により、前年度（38億9,521万円）と比較して1億29万円（2.6%）の減少となっています。

地方交付税は、25億7,247万円で、前年度（24億8,694万円）と比較して、8,553万円（3.4%）増加しています。市債は、12億3,839万円で、前年度（16億1,799万円）と比較して、3億6,340万円（22.7%）減少

## 【歳出】

歳出の主なものとして、総務費は13億4,897万円で、竹原駅バリアフリー化施設整備事業等の減少により、前年度（16億7,009万円）と比較して、3億2,112万円（19.2%）減少しています。民生費は、47億2,328万円で、臨時福祉給付金給付事業等の増加により、前年度（44億1,696万円）と比較して、3億632万円（6.9%）増加しています。

土木費は、12億3,411万円で、竹原港北崎旅客ターミナル整備事業等の減少により、前年度（14億8,258万円）と比較して、2億7,918万円（18.8%）減少しています。教育費は、14億1,755万円で、忠海小中一貫校整備事業の増加により、前年度（13億5,910万円）と比較して、5,845万円（4.3%）増加しています。

教育費は、14億1,755万円で、忠海小中一貫校整備事業の増加により、前年度（13億5,910万円）と比較して、5,845万円（4.3%）増加しています。

## 財政構造の弾力性

財政構造の弾力性を示す経常収支比率（※この言葉？？参照）は、平成26年度は98.2で前年度（94.2）と比較して、4.0ポイント増加しています。扶助費等の増加などが主な要因となっています。

## 基金残高の減少

平成26年度末時点の基金残高は36億1,559万円で、前年度（38億2,996万円）と比較して、2億1,437万円（5.6%）減少しています。減少の主な要因は、財政調整基金、都市整備基金の取り崩しによるものです。

## 市債残高の増加

平成26年度末の市債残高は、111億8,540万円で、前年度（107億9,318万円）と比較して3億9,222万円（3.6%）増加しています。増加の主な要因は、忠海小中一貫校整備事業等の増加によって、市債発行額が増加したことによるものです。

## 持続的な財政運営に向けて

今後も人口減少・少子高齢化の進行による社会保障関連経費や、老朽化した施設等に対応する経費の増加が見込まれています。限られた財源で最大の効果が出るよう創意工夫のもと、人口減少社会に対応した施策に取り組んでいきます。

### この言葉？？

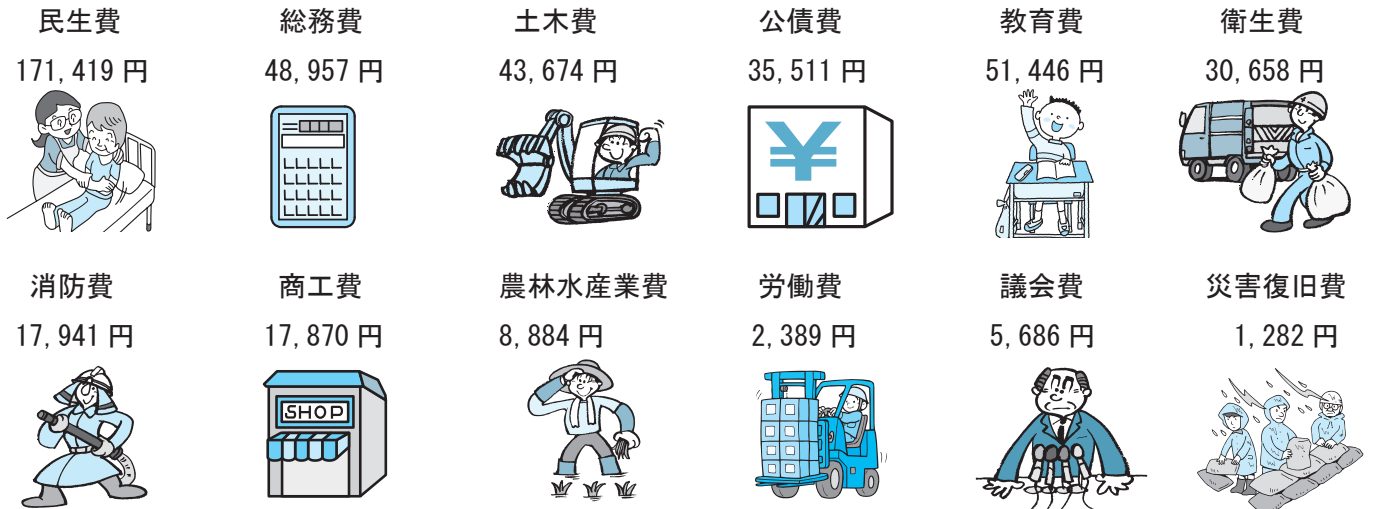
#### ○実質収支

形式収支（単純に歳入総額から歳出総額を除いたもの）から翌年度に繰り越すべき財源を控除した決算額。実質的な収入と支出の差額を示すものです。

#### ○経常収支比率

財政構造の弾力性を示す指標。この比率が高いほど経常的経費が占める割合が高く、臨時的な財源が少なく、一般的に財政需要に使用できる一般財源が少ないことを示します。

## 住民一人当たりの使い道は？



平成26年度末人口27,554人で算出。

合計額 435,718円

▼表1 平成26年度の特別会計決算

会計名	歳入	歳出
国民健康保険	36億7,503万円	36億6,576万円
貸付資金	1,146万円	1,146万円
港湾事業	5,066万円	4,269万円
公共下水道事業	7億3,522万円	7億3,522万円
公共用地先行取得事業	0円	0円
介護保険	32億9,968万円	32億7,025万円
後期高齢者医療	4億1,980万円	4億1,892万円

特別会計の決算状況は、表1のとおりです。

## 特別会計決算状況

# 財政健全化判断比率の状況

財政健全化判断比率については、表2のとおりです。

▼表2 健全化判断比率

健全化判断比率	平成26年度指標	平成25年度指標	早期健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率	赤字なし※	赤字なし※	(14.02)	(20.00)
②連結実質赤字比率	赤字なし※	赤字なし※	(19.02)	(30.00)
③実質公債費比率	7.5	8.1	(25.0)	(35.0)
④将来負担比率	36.9	32.6	(350.0)	—

※実質赤字額及び連結実質赤字額はないため、赤字なしと記載しています。

※①～④の用語の説明は「この言葉??」をご覧ください。

## この言葉??

### ①実質赤字比率

一般会計等についての赤字額を標準財政規模で除したものの。

### ②連結実質赤字比率

市の全ての会計の赤字額と黒字額を合算して、その赤字額を標準財政規模で除したものの。

### ③実質公債費比率

一般会計等の支出のうち、公債費や公債費に準じた経費（公債費にあてるための繰出金等）を標準財政規模で除したものの。

### ④将来負担比率

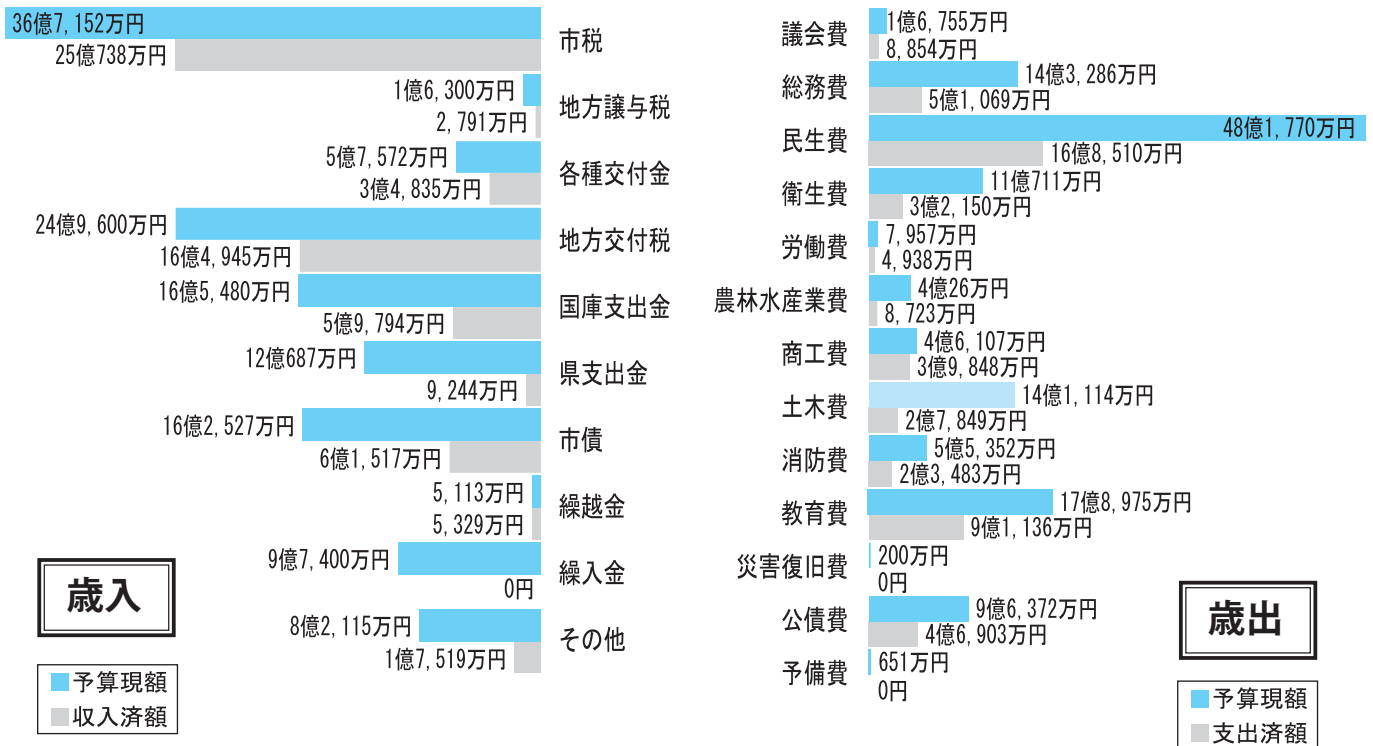
一般会計等が将来負担することとなっている実質的な負債（地方債償還や退職手当等）から、負債の償還に充当可能な基金等の残高を控除したものを標準財政規模で除したものの。

平成27年度9月末現在の一般会計予算額は、131億9,275万円で、収入済額は27億6,713万円（執行率46.0%）、支出済額は50億3,462万円（執行率38.2%）となっています。一般会計の款別予算執行状況及び各特別会計の予算執行状況は図2及び表3のとおりです。

## 平成27年度上半期の予算執行状況

健全化判断比率は、それぞれ財政再生基準、早期健全化基準が設けられており、これらの基準を上回った団体は、財政健全化計画の策定等が義務付けられます。竹原市はいずれの指標も基準を下回っています。

▼図2 平成27年度上半期の一般会計の予算執行状況



### 歳入

■ 予算現額  
■ 収入済額

### 歳出

■ 予算現額  
■ 支出済額

▼表3 平成27年度上半期の特別会計の予算執行状況

会計名	予算現額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
国民健康保険	41億4,714万円	14億4,528万円	34.9%	16億9,664万円	40.9%
貸付資金	1,029万円	476万円	46.2%	642万円	62.3%
港湾事業	4,297万円	2,397万円	55.8%	1,542万円	35.9%
公共下水道事業	7億4,493万円	2,363万円	3.2%	2億6,046万円	35.0%
公共用地先行取得事業	1,000円	0円	0.0%	0円	0.0%
介護保険	33億5,475万円	13億1,289万円	39.1%	13億4,553万円	40.1%
後期高齢者医療	4億4,248万円	1億4,186万円	32.1%	1億9,254万円	43.5%

# 水道事業会計

## 平成26年度の決算

● 収益的収支（消費税抜き）  
収入総額 8億8,430万円  
91円に対し、支出総額 8億3,467万4,711円  
円で差引当年度純利益 4,966万5,380円となりました。

● 資本的収支（消費税込額）  
収入総額 1,707万8,271円  
に対し、支出総額 3億2,082万1,587円  
で3億374万3,316円の不足が生じたので、当年

度分及び過年度分損益勘定留保資金、当年度分消費税及び地方税資本的収支調整額、減債積立金、建設改良積立金で補てんしました。

- 給水戸数 12,489 戸
- 普及率 99.1%
- 有収率 86.6%

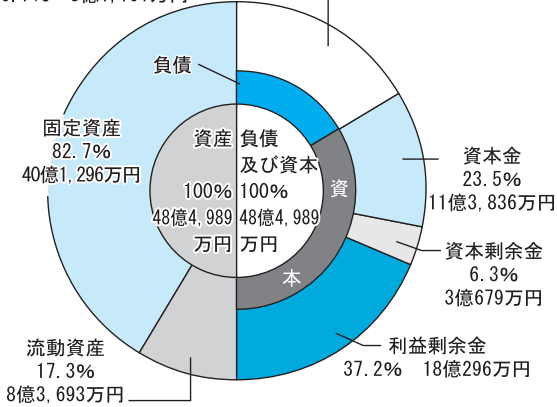
※有収率とは、給水量に関する料金として回収された水量の比率

### この言葉？

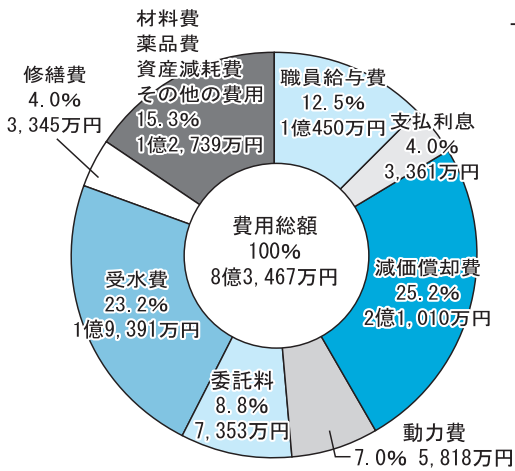
- ① 収益的収入**  
水道の給水に関わって得る収益。水道料金、分担金、手数料など
- ② 収益的支出**  
水道を給水するための経費。施設維持管理費。人件費など
- ③ 資本的収入**  
施設の建設改良費に充てるため借入れた企業債や、国の補助金など
- ④ 資本的支出**  
施設の建設改良費、企業債の償還金など

## 財政状況

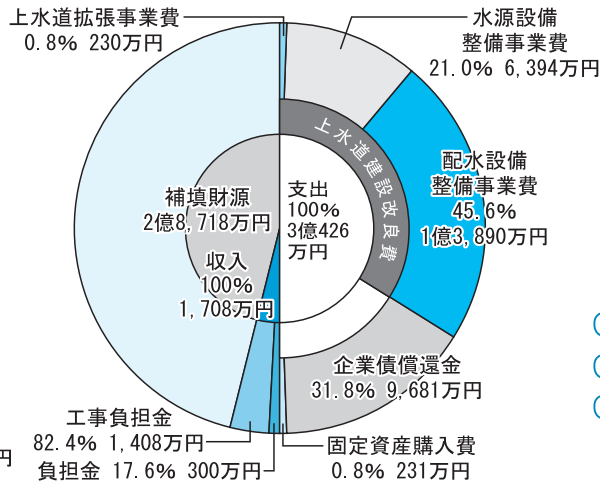
固定負債 17.0% 8億2,569万円  
流動負債 5.3% 2億5,818万円  
繰延収益 10.7% 5億1,791万円



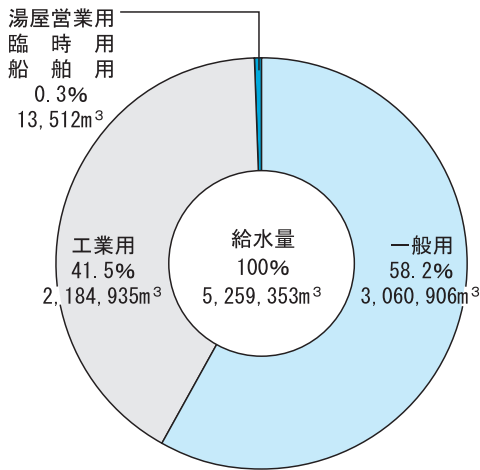
## 費用構成表 (税抜き)



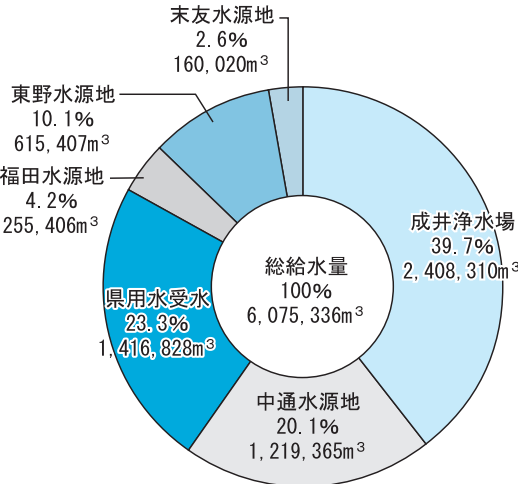
## 資本的収入及び支出の状況



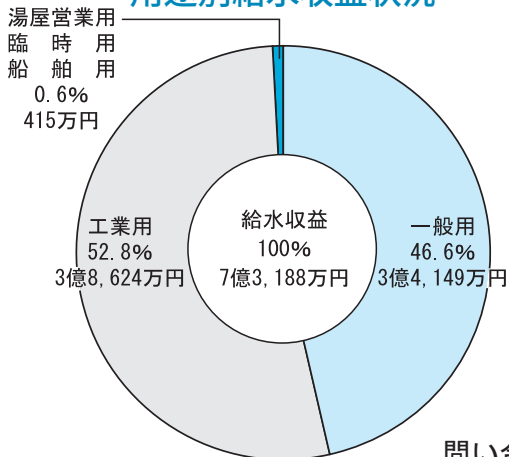
## 用途別給水状況



## 水源地別年間給水量



## 用途別給水収益状況



## 平成27年度水道事業会計上半期の予算執行状況

□ 予算額 □ 収入済額 □ 支出済額

収入		区分	支出	
8億2,503万円	4億3,451万円	収益的 収支	8億1,309万円	2億2,257万円
1,485万円			3億656万円	
0万円	0万円	資本的 収支	477万円	0万円
0万円			0万円	

問い合わせ 上下水道課庶務係 ☎ 22-7768